

2019年11月27日  
一般社団法人 日本半導体商社協会 (DAFS)  
経営研究委員会

2020年1月21日(火)開催『英文ビジネス電子メールセミナー』開催要領

1. 主催：(一社) 日本半導体商社協会(DAFS) 経営研究委員会
2. 開催日時：2020年1月21日(火) 13:20～17:30(受付開始 12:50より)
3. 会場：コアスタッフ株式会社 8F大会議室  
東京都豊島区南池袋一丁目16番15号 ダイヤゲート池袋8F  
(JR池袋駅メトロポリタン口または東口、西武線南口)
4. 時間割／演題／講師・略歴／カリキュラム：
  - ・時間割：注意事項説明・委員長挨拶 13:20～13:30  
セミナー 13:30～17:30(4時間)
  - ・演題：『英文ビジネス電子メールセミナー』
  - ・講師：ナレッジマネジメント ジャパン(株) 代表取締役 牧野 和彦 氏

<略歴>

早稲田大学教育学部英語英文学科卒。米外資系企業においてシニアマネジャーとして多くの実績を収め、1999年、日本人で初めて National Collections & Credit Risk において、800名の専門家を前に英語で講演を行う。2000年、現在の会社を設立し、与信管理のコンサルティング業務や講演活動を行う。自身の外資系企業における経験や海外取引におけるコミュニケーションを基盤とした英文メール研修も行う。早稲田大学の講師としても活動中。2016年より株式会社クレディセイフ企業情報の代表も勤める。

<著書・訳書>

『海外取引の与信管理と債権回収の実務』(日本実業出版社)、『海外取引でよく使われる与信管理の英語』(IBCパブリッシング)、『お金をかけずにマスターするビジネス英語』(中経出版社)、『海外取引の与信管理と債権回収』(税務経理協会)

<メールマガジン>

「ヘッドラインで学ぶビジネスイングリッシュ」、「ニュースで学ぶ与信管理と債権回収」  
(合計約10,000部)

セミナー内容(カリキュラム)

1. 英文メールの基本的な構成
2. 英文メールの基本的なフレーズ
3. 返事がもらえる英文メールの10のポイント

4. 能動態か受動態か？
5. 日本人の陥りやすい間違い
6. 微妙なニュアンスの差を知る
7. 取引の流れに応じた英文メールのサンプルとそのポイント  
(1) 資料請求 (2) 見積り依頼 (3) 契約条件の交渉 (4) 提案を断る (5) 発注・受注  
(6) クレームする (7) お詫びとお礼 (8) リマインダーと督促状 (9) 宣伝・売り込み

5. 受講対象者：新入社員及び英文メールの基本をしっかりと学びたい方々。

6. 受講料：DAFS 会員           10,000 円／1 人   当日現金で支払い（領収書発行）  
          DAFS 会員以外   15,000 円／1 人                           同上

7. 参加申込：別紙参加申込書に記入の上、DAFS 事務局宛てに E-Mail にてお申込み下さい。  
人数のみの仮予約も受付けます。

8. 締切日：12 月 24 日（火）または定員(60 名)に達し次第締め切ります。